



令和3年4月23日（金）発行

学校だより No.2

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】 「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
 - 礼節 ……思いやりのある生徒
 - 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】 「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

1学期が始まって約2週間が経過

新学期が始まってから2週間余りが過ぎました。それぞれの学年が、最初は新しい環境に慣れないためやや緊張気味の新年度のスタートでしたが、約2週間が過ぎ新しい学年にも徐々に慣れ学校に活気が出てきました。3年生は、集会があると体育委員長が全生徒を整列させたり本部役員が集会の準備や進行をしたりと活躍してくれています。2年生も、後輩ができてお手本となれるように部活動や専門委員会等で先輩らしい態度で先輩としての責任を果たしています。1年生は、ようやく中学校生活にも少し慣れてきて、友達とも積極的に交流し、授業に真剣に取り組み中学校の難しい学習内容を一生懸命理解しようと頑張っています。

しかし、緊張感が取れてくると少しずつ疲れが出てきます。毎日の規則正しい生活を心がけ、適度に休憩を取るなどメリハリのある生活を心がけることが大切です。また、慣れてくることにより心がだらけてしまうと勉強や部活への取り組み方が低下してしまいます。初心を忘れずに「やる気・勇気・根気」を発揮して、自分の力を伸ばしていきましょう。

「やる気」に溢れていた部活動紹介



新学期早々の4月9日（金）に部活動紹介が実施されました。昨年度は、新型コロナの影響で放送による紹介でしたが、本年度は新型コロナの対策を徹底し各部の紹介を体育館で行いました。

部活動紹介は、1年生が部活を選ぶために各部活動の様子を理解できるようにすることを目的に行われ、各部が一人でも多くの1年生が入部してくるようにと、**普段の練習の様子を披露したり各部の魅力伝えたりしてくれました。その姿は真剣そのもので、「やる気」に溢れていました。**部活紹介をしている2・3年生も、それを観ている1年生も目が輝いていました。

4月28日に部活編制が行われ、新体制の部活動がスタートします。今後の各部の活躍を期待します。

たくさんの図書を寄贈していただきました



令和2年度末に薄根町の阿部 成司（あべ しげじ）様より、たくさんの図書を寄贈していただきました。寄贈していただいた図書は、いつでも読めるように図書室に置いてあります。日本文学の歴史や三国志などの図書があり、普段なかなか読む機会が少ない図書ばかりですから、是非多くの人に読んでもらいたいと思います。

阿部様の温かいお心遣いに心より感謝申し上げますとともに、これを機に今後益々読書活動を推進し、生徒達の心や知識を豊かにできるように取り組んでいきたいと思ひます。

「気づき・考え・実行する」～生徒集会「JRC入会式」より～



4月15日(木)の生徒集会で、本年度の「JRC入会式」が行われました。式の中で本部役員からJRC「Junior Red Cross(青少年赤十字)」についての説明がありました。

JRCの起源は、スイス人のアンリー・デュナンがイタリア統一戦争で、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い命は救われなければならない」との信念のもとに救護活動を行い、その

の様子を伝えた本を出版し、それが基で赤十字規約ができたそうです。また、JRCには「気づき・考え・実行する」という行動目標があります。困っている人がいたらそれに気づき、どうしたらよいかを考え正しく判断し、それを実行に移す、ということです。この考え方は、西中の本年度の重点目標「主体性と支え愛(3つの気を育てる)」に通じる考え方だと思います。

「気づき・考え・実行する」を学校生活の中で実践し、JRCの一員としての責任を果たすとともに西中の目標にも近づいていきましょう。

沼田西中「部活動方針」について

日頃より、本校の部活動運営にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。部活動が生徒達にとって安心・安全で人間的成長が図れる教育部活となるよう、下記の方針に沿って活動を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【適正な部活動の運営に向けて】※休養日についてのみ抜粋

(3) 適切な休養日等の設定

生徒の心身のバランスのとれた部活動の運営と、また教職員の負担軽減や長時間労働解消のためにも休養日や活動時間等を設定することが重要である。そのため、年間を通して計画的に、適切な休養日等を設定することとする。

① 週当たりの休養日の設定

・週2日以上(平日に1日と土・日曜日のいずれか1日)の休養日を設定する。
※なお、大会等への参加などにより、土・日曜日にやむを得ず活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

② 長期休業中の休養日の設定

・長期休業の意義を考慮して、土・日曜日は休養日とする。
・部活動をもたない日を設定すること。(学校閉庁日に合わせる)
※なお、大会等への参加などにより、土・日曜日にやむを得ず活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

【部活動編成についての方針】

(1) 全体

- ① 団体、個人競技ともに新設はしない。
- ② 全員入部を原則とする。
- ③ 個人種目がある競技は、希望により大会参加を認める。
(②により本人はどこかの部に所属する。)

(2) 休部にする場合

- ① 少人数でも部員がいる場合は、休部にはしないで活動を保障する。ただし、本人から希望があれば転部を認める。
- ② 部員がいなくなった時点で「休部」扱いとし、次年度の募集はしない。

(3) 「休部」からの復活について

- ① 生徒、保護者、地域の指導者等の要望により検討する。
ア 団体として認める場合
次年度、次々年度の2学年で合わせて、単独で団体出場できる見込みが立った場合、4月より復活できる。
イ 個人のみ復活は認めないが、希望があれば大会参加は認める。
ウ 「休部」からの復活はあくまで団体出場の見込みが立った場合のみであり、個人戦への参加は(1)③による。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

ある日の午前中、前橋まで出張に出かけ、その帰りの車の中で「そろそろ5時間目が始まる頃だけど、教室に戻って授業の準備をしているかな」と思いながら駐車場に入りました。辺りを見回すと校庭にも玄関にも誰もいませんでした。校舎の中に入るとシーンと静まりかえり、すっかり授業の準備ができていました。

休み時間でたくさん遊びたいところですが、しっかりと授業の準備ができるのは、当たり前のようにとても素晴らしいことです。正に「**勇気**」をもって遊びたい気持ちよりやるべきことを優先し正しい判断をした姿でした。



